

3

プロジェクトで選ばれた事業は?

本プロジェクトの第1回には53事業の応募をいただき、選考の結果、小水力発電による電力調達の実証実験や子ども虐待予防教育促進、防災教育の担い手の育成、多世代交流型の地域コミュニティづくりなどの多岐にわたる事業(8事業)が選ばされました。

それらの事業が実施されるだけでなく、阪神高速と団体が協働した取り組みとして、「いけだエコスタッフ」と座談会を実施し持続可能な社会の実現について共に考え、「プラス・アーツ」による防災講座では、具体的な防災についての備えや実体験で得た知恵などを知る機会をいただきました。また、阪神高速の産地直送市場、ナナ・ファーム須磨において「北摂こども文化協会」と遊びの出前どこでもブレイパークを行い、大勢の家族連れでぎわいました。

2022年11月には、各団体に集まつていただき、事業実施報告会を開催しました。本報告会を通じ、団体同士の新たなつながりも生まれ、団体間での事業連携の可能性を見出すきっかけになりました。

第2回は、大阪湾の保全活動、不登校児童や生徒の居場所づくり、荒廃竹林の資源活用などの8事業が選ばれ、現在事業実施中です。



阪神高速グループは事業を通じて地域や社会の発展に貢献することを目的としており、私たちのミッションとSDGsのベースにある考え方は交わる部分が非常に大きいと考えています。「17パートナーシップで目標を達成しよう」を事業全体に関わるSDGsとして掲げていますが、それを体現するひとつが「阪神高速 未来(あす)へのチャ

レンジプロジェクト】です。グループの事業ともっとも関連の深い「11・住み続けられるまちづくり」を中心に、すべてのSDGs目標の達成に貢献します。

また、こうした当社グループの取り組みを「サステナビリティブック」としてまとめ、ステークホルダーに向けて情報を発信しています。

●阪神高速グループの事業とSDGsとの関係イメージ図



これからも積極的にSDGsの達成に貢献します

【阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト】を通じて、市民団体の皆さまの熱い想いやそれぞれの取り組みが社会にとって不可欠なものであることを実感しました。助成事業をきっかけにして得た連携を継続し発展させていくことで、これまで取り組んでいなかった分野にもチャレンジするなど、相乗効果を發揮できればと考えています。阪神高速グループはサステナブルな社会をめざし、これからもSDGsの達成に貢献していきます。



1 「阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト」とは?

いま、地球温暖化や異常気象など世界中が深刻な環境課題に直面しているなか、身近なところでは子どもの貧困や人権侵害など、私たちの周りには解決すべき社会課題が多数存在しています。これらの課題には、国や自治体だけではなく、企業なども含めた社会全体で解決を目指し、持続可能な社会を実現していくことがより一層求められるようになりました。こうした流れを踏まえ、このプロジェクトは始まりました。

このプロジェクトは持続可能な社会の実現にむけての開発目標(SDGs)のひとつ、「17・パートナーシップで目標を達成しよう」で示されているように、阪神高速道路の沿線地域で行う公益的な活動に対して助成を実施することで、市民団体と協働で社会課題の解決を図り、地域・社会の持続的発展とSDGsの達成に貢献します。



私たちは高速道路事業という公共性の高い仕事を本業とし、それ以外にも社会貢献活動を行ってきましたが、このプロジェクトを通じて助成という金銭的支援だけではなく、市民団体との出会い・協働をきっかけにさらなる社会課題の解決に努めています。



4 阪神高速グループのSDGs達成への取り組みは?

SDGsには「誰一人取り残さない」という大きなテーマがあります。あらゆる人たちが将来にわたって安全、安心に暮らしていくための取り組みとして、次の3つのテーマに沿った事業を支援します。特に、創意工夫がありチャレンジ精神旺盛な事業プランを応援します。

①安全・安心なまちづくり
平時および災害時にも高齢者や障がい者、在住外国人などあらゆる人たちが安心して暮らしていくまちにしていくことが必要となります。高速道路事業者として交通安全も重要なテーマです。



②持続可能な環境づくり
脱炭素社会や循環型社会の実現など、持続可能な環境づくりのためには誰もが当事者として意識と行動の変容が求められます。



③次世代を担う人づくり
地域や社会が持続していくには次世代を担う子どもたちの健やかな成長と、地域の文化的知識や技術の取得・伝承が必要となります。



2 プロジェクトの対象となる事業は?

阪神高速は2021年4月より、グループ会社6社及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、さまざまな社会課題の解決に向け、公益的な活動をサポートする「阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト」を実施しています。阪神高速道路の沿線で活動する数多くの市民団体の中から魅力ある事業を選出し、助成を実施することで、SDGs達成に貢献していくプロジェクトの取り組みと協働についてご紹介します。



プロジェクトの詳しい内容については、こちらから是非ご覧ください。

地域・社会に貢献できる活動を応援し、明るい未来の共創をめざす

阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト

阪神高速は2021年4月より、グループ会社6社及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、さまざまな社会課題の解決に向け、公益的な活動をサポートする「阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト」を実施しています。